令和４年度　１人１台端末の活用による実践事例

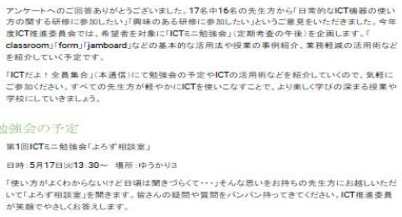
学 校 名		岡山県立笠岡商業高等学校		
実践者等		奥山瑛介	実践日	令和４年５月17日
実践場面 （教科・科目（単元名）、学校行事等）		教員研修（考査の午後に希望者を募り実施）		
対象生徒（学年等）		教員（希望者）		
育成を目指す資質・能力		☐知識・技能　☐思考力・判断力・表現力等　☐学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☐クラウドやアプリの活用　☐デジタルデータの保存　☐思考やデータの可視化 ☐データの共有や共同編集　☐対話を充実させる活用　☐思考を促す活用 ☐表現を充実させる活用　☐課題のやり取りと評価の支援　☐効率化や省力化 ■その他（教職員研修）		
	家庭学習	☐振り返り　☐探究　☐反転学習　☐補習・定着		

実践の内容

○ICT 推進委員による ICT ミニ勉強会の実施（希望者対象）

（１）アンケートの実施　　：「どんなことに困っているのか」「どんな研修があったら受けたいか」というアンケートをとり、年間の研修計画を立てた。

（２）ICT 通信の発行：「アンケート結果」「研修計画」などを載せた教員向けの通信を発行（電子掲示板で共有）



（３）第１回 ICT ミニ勉強会「よろず相談室」（メイン）

目　的：「日常での活用で困っていることや分からないことを解決する」
「教員の ICT 活用に関してのニーズや、今後の研修計画の足がかりとする」

実施日：考査日の午後（参加者：11 名＋ICT 委員６名）

内　容：「form を使ったアンケートの作り方・集約の仕方」
「jamboard の使い方」「スプレッドシートの編集・アップロード・ダウンロード」
「デジタル教科書の映し方・書き込み方法」「Classroom へのリンクの貼り方」など

勉強会の実施に当たり、アンケートの実施や ICT 通信の発行をしたことで、希望者対象にもかかわらず、ICT が得意でない先生方（管理職含む）が 10 名以上（推進委員を除く約半数の教員）に来てもらえ、ICT が得意な教員とそうでない教員との関わりを増やして、お互い学びあう雰囲気づくりの重要性を感じた。

今回は個別で相談に乗るスタイルで実施した。やはり理解度や困り感、ICT 活用の目的などは個人差が大きいため、あえてテーマを決めずに何でも聞けるスタイルで行えたことは先生方のニーズに沿えたと考えている。

【本時と今後の ICT 推進への連動】
- 今回の勉強会は参加者から好評であったが、今後は教員の ICT 活用への意欲を高めることが大切なので「使いたい」「便利だ」と感じさせるための実践事例を紹介するような研修を次回開催したい。
- 研修を持つことが推進委員のマンパワー頼みになるのではいけないので、日頃の ICT に関するトラブル解決方法や授業での活用方法などこちらから伝達することももちろん考えられるが、それ以外でマニュアルを作るのが良いか、解説動画集を作るのが良いかなど検討が必要である。